

ひたむきに、正直に - そして明日へ



都立久留米高校サッカー部のメンバー

新 年を迎え、皆さんはどのような目標を立てましたか。もちろん目標は十人十色。実現可能なものもあれば、夢のようなものもあるかもしれません。しかしそれがどのようなものであれ、たとえ困難なことになつたとしても、今年には都立久留米高校サッカー部のように、目標達成に向け「ひたむきさ」「正直さ」を貫いてみませんか。

第85回全国高校サッカー選手権大会出場を果たした都立久留米高校サッカー部。以前にも同大会へ出場した経験がありますが、それは14年前のこと。その同部が10数年の眠りから覚め、大きく躍進した理由のひとつとして斎藤監督は、選手たちがサッカーに対して「ひたむき」「正直」であること、を挙げています。そして、この真摯しんしんな姿勢で厳しい練習を積んできたことが、今回の結果につながりました。

斎藤監督は「非科学的なこととは信じないが、久留米を思う気持ちが、最後にひと花咲かせるエネルギーをくれた」ともおっしゃっていました。「ひたむきに」「正直に」取り組み、目標を実現できるよつに何が背中を押してくれるのかもありません。

都立久留米高校は学校統合のため3月で廃校になります。しかし4月からは同校の伝統を受け継ぎ、都立東久留米総合高校として新たなスタートを切ります。

市も昨年3月に財政危機宣言にひと区切りをつけました。この間育ててきた構造改革の芽をさらに大きな木となるよつ引き続き努力していきます。気持ちを新たに、今後も自立する自治体として存続できるよう、市の運営に取り組んでいきます。今年もよろしくお願いします。



こまやかな気配りで、選手たちがサッカーに「ひたむきに、正直に」取り組める環境をつくるマネジャーの3人。選手同様グラウンドを走り回っています



目標に向かって

全力疾走!!

「練習は量より質」

「時間帯という短い練習時間内で選手たちが効率よく、質の高い技術を習得できるように練習メニューを組み立てている斎藤監督」



各練習が持つ意味をしっかりと考えながらプレーする選手たち

次号の「広報ひがしくるめ」は2月1日の発行です。本年もご愛読のほどよろしく申し上げます。